

入野小学校

『心豊かで、たくましい  
子どもの育成』

校長 芝 雅人

◆はじめに

入野小学校では「心豊かで、たくましい子どもの育成」というテーマで取り組みを進めているところです。

もっと一般的な言葉で「心豊かな子ども」を表すと「やさしい言動をする子ども」という姿が浮かんできます。自分を大切にすることでなく、状況を見ながら他者の思いや願いを推しはかる人になってほしい、そんな願いで取り組んでいます。

もう一つの「たくましい子ども」は、「身体的なたくましさ」と同様に、「気持ちのたくましさ」も含めて考えています。「当たり前だと思われることを、当たり前にする」のは、実はとても難しいことです。でも、そこに大切なところがたくさん含まれているのではないのでしょうか。小学生時代に「大切だ」と気づいて欲しいことは「勤勉さ」です。頑張っていたらできるように

なった、そんな成功体験を得るために、日々のちょっとした積み重ねを大切にしていく、そんな取り組みを大切にしていくと頑張っているところですよ。

◆校内研修の取り組み

校内研修のテーマは昨年度と同じで「かかわり合い、学び合う子どもを育てる」です。本年度は「かかわり合う子ども」「学び合う子ども」の具体的なイメージを次のように描きました。

「多様な考え方の中から、より分かりやすい考え方やその根拠を言うことができる子ども」  
「友だちの考え方に学び、考え方の共通点と相違点を見つけることができる子ども」

そんな子どもの姿を実現するために、特に算数で目指す授業を考えました。

「絵や図など既習事項を使って、自力解決する授業を行う」  
「考え方の良さやおもしろさを見つけようとする授業を行う」

すべての授業で行える方法ではないかもしれませんが、特にお互いで参観し合う授業を中心に取り組んでいるところです。

◆学力の状況

平成26年度 標準学力調査結果 (全国を1とする)

	2年	3年	4年	5年
国語	0.95	0.95	0.86	1.04
算数	0.95	0.97	0.90	1.05

◆学力向上に向けて

4月に行った標準学力調査ではやや厳しい結果が出ていますが、それらの改善に向けて「くろしおタイム」や朝会の時間を活用した視写や算数、ノート紹介などの取り組みにより、基礎的・基本的な力を伸ばそうと頑張っています。

◆読書活動の充実

良い本を読むことは、子どもたちにとって知育的な効果だけでなく徳育的な効果も期待

待できることです。本校でも大切に考えていることです。子どもたちの読書環境についてご紹介します。

まず、ご紹介したいのは、図書室がとても充実していることです。入野小学校にお越しの際は、ぜひご覧ください。きれいに本が整頓されていて利用しやすいだけではありません。本の内容や季節の行事に関係した飾り付けがあり、「楽しそう」「行ってみたい」という雰囲気図書室になっています。



日々の読書の時間にも力を入れていきます。掃除の後の10分間は「読書の時間」。子どもたちだけでなく、職員も職員室にいる者も含めて「ページをめくる音以外はたてては

いけない」ことが原則とされています。

◆防災への取り組み

これは入野小学校だけでなく、黒潮町全体の課題でもあります。黒潮町全体の課題でもあった防災教育にも力を入れています。



これは、5年生が行った親子防災キャンプの1コマ、段ボールでのパーティション作りの様子です。この他にもカレイライスを手作りのお皿とスプーンで食べたり、ランタンを作ったりしました。

◆ホームページのご案内

ホームページでも活動を紹介しています。学校名で検索してください。

# 南郷小学校

『なかよく  
かしくく たくましく』

校長 則 ルリ

## ◆はじめに

校庭の石碑に刻まれている校訓「なかよく かしくく たくましく」、そして「自ら学び、すすんで行動する子どもを育てる」の学校教育目標のもと、知・徳・体・命をバランス良く施し生きていく力を育むために、地道な取り組みを進めています。児童は、素朴で明るく、休み時間には、上級生は下級生にやさしくかわり、学年関係なく全校児童で仲良く元気に遊ぶことができます。保護者・地域も、学校に対して温かくとても協力的です。



本年度は、7人(男子5人、女子2人)の新生を迎えて、児童数45人(男子25人、女子20人)、教職員数13人で教育活動をスタートさせました。校区は、7地区からなっており、うち3地区が海岸近くの国道56号線沿いにあります。

校舎は、6.6m、海からの直線で670mの場所に位置していることから、防災教育は学校の重点課題と位置付けています。



避難訓練(休み時間)

平成24年度

には、文科省の防災教育事業の研究発表を行いました。昨年度からは、町の防災教育推進校に指定され、「防災教育の風土づくり」に向け、毎月の避難訓練、体力作り、炊出し訓練、防災学習・研修、保護者・地域との連携など、実践を積み重ねています。

## ◆校内研修の充実

日々の教育活動はもろろんのこと、わかる授業づくりの推進のため、今年度も全担任が授業公開を行いました。教材研究・授業研究には、必ず外部講師を招へいし、研究協議での示唆などを、次の研究授業にスパイラルにつなげていくことにより、本校の実態にあった授業スタンダードの確立も進めています。

## ◆学力の定着・向上に向けて

①基礎学習タイム・チャレンジ

ジタイム・フライデータイムなどの取り組みの継続。課題である活用問題への対応のために、市販テストを全校で「E Xテスト」(株日本標準)に統一

## ③作成中の家庭学習の手引きの配布

④教材室、理科室・準備室などの整備

## ⑤ノート提示方法の工夫

## ⑥夏休みの加力学習など

◆標準学力調査結果より  
左記は、今年4月に実施した標準学力調査の結果です。

## 平成26年度 標準学力調査結果

(全国を1とする)

	2年	3年	4年	5年	6年
国語	1.02	1.10	0.93	1.16	
算数	1.08	1.09	1.06	1.17	
理科			0.90	1.24	1.06



夏休みの加力学習

## ◆高知県人権教育研究大会での実践発表

10月の県人研大会では、「特別支援学級の子ども達を中心に据えた学級の取組みと集団づくりに向けて、子ども達一人ひとりの自立のための相互の関わりづくりと人間関係づくりについて」の要旨で、取り組みの一端を報告しました。

## ◆学校・家庭・地域との連携

『地域に根ざした学校』

子どもは、地域の宝であり、「地域を学び」「地域に学ぶ」「地域と学ぶ」という視点から、生活科や総合的な学習の時間を使い、フィールドワーク、聞き取り学習や地域の高齢者・施設利用者などとの交流を通して、地域の方々の願いや生き方にふれ、共に生きることの大切さを学んでいます。

地域の行事には児童の参加が増え、地域の行事の伝承が

できていくように感じます。地域を誇りに思い、地域を愛する子どもを育てていきたいと思っています。



運動会での太刀踊りと秋祭り



保護者、地域の方々には、今年度も引き続き、教育ボランティアとして、朝の読み聞かせ、米作り学習、運動会での太刀踊りの指導、大根交流、手話学習など、さらに、今年度は、音楽朝会や音楽祭に向けての合唱・合奏指導でも、学校に関わってもらっています。



音楽祭に向けて

これからの取り組みは、子どもたちはもちろん、学校教育にとって大きな支えとなっています。

これからも地域に開かれた教育のあり方を探っていくことが重要だと考えています。